

視野

- 1 この実習で用いた器具の名称を () とら
- 2 視野を正確に測るためには、被験者にどのような点を、前もって注意しておいたら良いか。
- 3 右目での視野を計測したとき、水平で視野が広いのは() 方向であり、
上下で視野が広いのは () 方向であった。
- 4 文字を判読できる範囲は、全体の視野に比し、非常に狭かった。では、
自分のこの範囲はどのくらいであったか()
狭いことをどのように説明したらよいか。
- 5 色を識別できる範囲も、全体の視野に比し、狭かった。これをどのように説明したらよいか。
- 6 右眼球の水平断面図を描き、正面にある一点(●とする)を見続けているとき、その点の網膜に投射される部位を名称を
付して図中に示しなさい。さらに、●と同じ平面上にある盲点となる空間の位置と網膜上の対応点を名称を付してしめし
てください。

眼球運動

- 1 今回の実習では、第()班に属し解析したデータの被験者は()である。
- 2 下の図は、ある班で調べた眼球運動の軌跡を描いたものである。



縦軸は、何をあらわしているか。また、上向きは、なにか？

A、B それぞれどのようなときの眼球運動か、また、何という名称か？

A:

B:

この観察から、どのようなことがいえるか。

- 3 各班ともに、2つの異なった眼の動きを観察した。各自の班で行った実験をもとに、次の各問いに答えてください。
- 目的

それぞれの反応時間は、およそどのくらいであったか(単位をつける)。

両者の何を、何という検定方法で比較したか。

検定の結果は、p 値を基準に判断したはずであるが、その値は 5 %を超えていたか、あるいはそれ以下であったか？

()

その検定の結果、有意な差があったといえたのか？

もし有意な差があったとしたら（あるいは無かったとしたら）、それをどのように考えたか。検討してください。

- 4 もし、眼球運動が自由に記録できるとしたとき、どのような時の眼球運動を記録してみたいか。各自問題設定を考えてください。